

議会だより

72

のとちょう

2023. 5. 1

令和5年度当初予算を可決!	
議員なり手不足解消調査特別委員会を設置	
3月定例会議・2月会議	2-6
一般質問	7-14
議案をチェック	15
常任委員会レポート	16-18
主な議会活動	19
まちかどインタビュー	
編集後記	20

30周年を迎えた
満天星

会計151億8000万円のほか、 解消調査特別委員会を設置！

一般会計予算額 151億8000万円
前年度比 +1億6600万円 (+1.1%)

特別会計予算額 55億4305万円
※国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険特別会計
前年度比 +2060万円 (+0.4%)

企業会計予算額 67億3190万円
※水道事業、下水道事業、病院事業会計
前年度比 +8億704万円 (+13.6%)

予算規模総額 274億5495万円
前年度比 +9億9364万円 (+3.8%)

令和5年第2回能登町議会3月定例会議を3月6日から15日にかけて開催し、初日に堂前利昭議員の辞職の件を許可、それに伴う議会運営委員会委員及び広報編集特別委員会委員の選任を行ったほか、町長提出議案42件が提出された。
議案は令和5年度当初予算、令和4年度補正予算のほか条例改正や人事案件などで、人事案件以外の

令和5年度主要事業

誰もが住み続けたいくなるまちづくりの推進

●定住住宅助成金（3750万円）

- ・能登町に住んでよかったと感じながら能登の暮らしを受け継ぐため、ライフステージごとの住環境の課題を解決するための助成制度を新設。
- ・空き家の活用や地域内経済の循環等により、定住の促進や誰もが住み続けたいくなるまちづくりへと繋げていく。

（制度概要）住宅の新築や改修等に係る費用の最大10%を助成。

（限度額）新築300万円、中古購入100万円、改築50万円

子ども・子育て支援の充実

●学校給食費助成事業（1316万円）

- ・物価高騰が続くなか、学校給食費への助成を行うことで保護者の負担軽減を図る。

（制度概要）子ども一人あたりの年間給食費を、小学校4万円、中学校5万円とし、実際の給食費との差額を町が助成。

※助成率：給食費の約3割



給食（イメージ）

議案は各常任委員会でも審査し、全議案を可決した。
13日には9人の議員が町政全般について一般質問を行った。
15日には議会提出議案として条例制定及び特別委員会設置についての2件、町長提出議案として条例改正の1件が追加提出され、原案を可決した。

令和5年度当初予算、一般 能登町議会議員なり手不足

令和5年度主要事業

①自然環境との絆を大切にしまちづくり

●トキ放鳥受け入れの推進（200万円）

- ・トキ放鳥モデル地区（九里川尻地区）の環境整備補助（100万円）
- ・能登地域トキ放鳥受入推進協議会負担金（100万円）

●珠洲市・能登町環境衛生施設の解体（546万円）※実施設計

- ・「能登の里山里海」の景観保全のため、平成19年3月に閉鎖した珠洲市・能登町環境衛生施設の解体に着手。
- ※事業費は組合解散時の協定書に基づき珠洲市と按分。



トキ放鳥（イメージ）

②誰もが住みよいと感じる地域が一体となったまちづくり

●除雪機械オペレーター育成支援事業（40万円）

- ・除雪業者における、大型特殊自動車免許取得経費・技能講習経費の一部を支援。

●道路メンテナンス事業（1億9650万円）

- ・新五朗河原橋（上地区）の架け替えをR5～6年度にて実施。
- ・トンネル長寿命化修繕計画の更新。

●防災重点ため池浚渫事業（2010万円）

- ・堤体の決壊により住宅等の浸水被害が想定される防災重点ため池について、R5・6年度にかけて浚渫を行う。

●内浦総合支所バスロータリー整備事業（132万円）※実施設計

- ・内浦総合支所前をバスロータリー化し、利用者の利便性の向上とバス利用の促進を図る。

●消防団詰所整備事業（9081万円）

- ・松波分団詰所を旧内浦庁舎跡地に整備するほか、小木分団詰所整備に向けた実施設計。



トンネル（イメージ）

③地域の魅力を生かしたしごとづくり

●関係人口創出事業（1994万円）

- ・新しい働き方（テレワーク・ワーケーション・複業）から新たな人の流れを加速させ、課題解決や人材育成につなげるほか、サテライトオフィスの誘致を目指す。
- （のと未来会議・能登ローカルシフトアカデミー、ワーケーションセミナー等を実施）

●沿岸沖合漁船員就業対策事業（40万円）

- ・漁業従事者確保のため、従来の小型船舶・海技士免許に加え無線従事者免許についても、取得経費の2分の1を補助（上限5万円）。

令和5年度主要事業

●キャッシュレス決済の推進（2992万円）

- ・現在、内浦商店連盟協同組合で導入されているキャッシュレスシステム「ひまわりカード」について、全町展開するために必要な支援を行う（事業主体は町商工会）。

※システム機械機器導入やカード普及、見守り機能に伴う費用について支援。

●役場跡地（仮称）大屋根広場整備事業（2億5161万円）

- ・住民の憩いの場、交流の場、イベント会場として旧役場跡地に大屋根広場を整備。



（仮称）大屋根広場

④健康で心に豊かさを持てる人づくり

●統合保育所整備事業（7億9383万円）

- ・宇出津地区の2保育所を統合し、新たに保育所を整備。

（令和6年5月開所予定）

（R5事業：建設工事全般、備品等購入）

●まつなみキッズセンター整備事業（1330万円）

- ・まつなみキッズセンターを現松波分団詰所跡地付近に再整備する。

（R5事業：現松波分団詰所解体設計、キッズセンター建設に係る実施設計・地質調査）

- ・本整備事業に合わせ、松波中央公園の一部の再整備も実施（実施設計費を計上）。



（仮設）宇出津地区統合保育所

●不妊治療交通費助成（8万円）

- ・不妊治療における費用負担の軽減のため、通院に係る交通費の一部を支援。

●介護人材の確保（1210万円）※下記はR5年度からの新規事業

- ・民間事業者における介護支援専門員の資格更新に対し助成。
- ・居宅介護支援専門員の処遇改善を支援。



介護人材（イメージ）

⑤地域を通して共に学び、まちの未来を担う人づくり

●能登高等学校魅力化事業（5413万円）

- ・地域留学事業（全国から応募した高校2年生が1年間能登高校へ留学）

- ・「まちなか鳳雛塾（公営塾）」の運営

（R5年度中にNTT能都ビルへ移転予定）

- ・能登高校支援事業において、通学費（定期代）の補助率を拡充（2割⇒5割補助）



能登高等学校

●英語力向上対策事業（161万円）

- ・オンライン英語授業の実施（外国在住の外国人講師と生徒のマンツーマン授業）

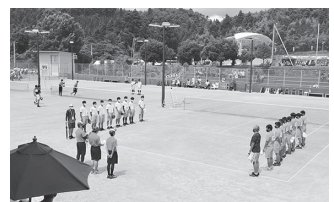
※R5年度は小学校5・6年生、中学校全学年に拡充して実施。

●白丸公民館整備事業（1億1444万円）

- ・白丸コミュニティ施設を増改築し、白丸公民館として再整備する。

●全日本学生ソフトテニス大会（660万円）

- ・令和5年9月1日～7日に男子大会を藤波運動公園で開催する。



ソフトテニス大会

⑥地域の絆を深め、住み続けたいまちづくり

●結婚新生活支援事業（300万円）

- ・R5年度末までに婚姻届を提出した夫婦ともに39歳以下の世帯において、家賃や引越費用等の住居費を最大60万円補助する。※所得制限あり

●移住促進引越支援事業（75万円）

- ・転入者（若者・子育て世帯）の引越に係る費用について支援する。



結婚生活支援（イメージ）

令和5年度主要事業

●移住促進家賃支援事業（360万円）

- ・U・Iターン世帯に対し、家賃の一部（最大2万円）を3年間支援する。

●地域コミュニティ活性化事業（500万円）

- ・地域コミュニティの活性化を図るため、従来の補助制度を整理統合したうえで、集会所の新築・耐震改修等に対する補助を加えた新たな制度を構築。

（例）集会所新築（9割補助・上限3000万円）

集会所耐震改修（9割補助・上限500万円）

⑦わかりやすい行財政と情報の共有によって、つながるまちづくり

●多機能端末による証明書交付手数料の軽減

- ・住民票等をコンビニ等で発行手続きした場合、手数料を一律150円引き下げ。

●遊休施設解体事業（1億6031万円）

- ・財政負担を将来世代へ先送りしないため、公共施設等総合管理計画に基づく解体を昨年度に引き続き実施する。

【解体費用計上】

- 旧秋吉分団ポンプ車庫
- 旧白丸分団ポンプ車庫
- 農業用研修施設
- 鶴川森林公園遊具・トイレ
- 枇杷坂団地（4号棟）
- 旧柳田小学校

【実施設計・調査費計上】

※解体工事費は補正予算対応又は後年度予算に計上

- 旧宇出津公民館
- 旧松波駅
- フルーツ管理センター
- ベイエリアポケットパーク
- ふれあいハウス
- 旧内浦多目的研修施設
- 漆原浄水場（水道事業会計）



■その他事業

●企業視察支援事業（74万円）

●創業・継承支援事業（1541万円）

●いしかわ百万石文化祭（地域文化発信事業）（260万円）

●柳田小学校大規模改造事業（1247万円）※実施設計

●松波城址整備事業（4082万円）

●病院改良事業（8億6907万円）



公立宇出津総合病院

その他の主な議案

能登町固定資産評価審査委員会委員の選任 江端 由爾 氏（石井）

能登町公平委員会委員の選任 角 弘子 氏（鶴川）

能登町教育委員会委員の任命 上結 謙一郎 氏（宇出津）

令和5年第2回3月定例会議の審議結果

（賛否の分かれたもののみを掲載します）

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、— 議長は採決に参加しません。

結果可否	議案	議員名	小浦 肇	吉田 義法	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	南 正晴	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	鍛冶谷 眞一
可決	発委第2号 能登町議会議員なり手不足解消調査特別委員会の設置に関する決議		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○

議会の組織について

○総務産業建設常任委員会
委員長

○議会運営委員会
副委員長

吉田 義法



○広報編集特別委員会
委員

南 正晴



※堂前議員の辞職に伴い、組織の変更を行った。

議会提出議案

○能登町議会の個人情報の保護に関する条例の制定

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、令和5年4月1日より個人情報の保護に関する法律が施行されることに伴い、議会は同法の適用除外となることから、『能登町議会における個人情報の保護に関する条例』を制定する。

○能登町議会議員なり手不足解消調査特別委員会の設置に関する決議

昨今、地方議会議員のなり手不足や高齢化が全国的な課題となっており、当町においても、令和4年10月23日に執行された能登町議会議員選挙が、町村合併以来、初めての無投票選挙となった。この結果を踏まえ、議員のなり手不足の解消や、適正な議員定数や議員報酬について調査研究する必要があると考え特別委員会を設置する。

◇委員定数

14人（欠員1名を除く13人）

◇委員長 鍛冶谷 眞一



◇副委員長 馬場 等



2月会議

令和5年2月17日に『令和5年第1回能登町議会2月会議』を開催し、町長より請負契約の締結3件が提出され可決した。

○令和4年度統合保育所整備事業（仮称）宇出津地区統合保育所建設工事（建築）（※ゼロ町債）

鼎・須美矢 特定建設工事共同企業体

○令和4年度統合保育所整備事業（仮称）宇出津地区統合保育所建設工事（電気設備）（ゼロ町債）

北陸電気工事 株式会社 能登営業所

○令和4年度統合保育所整備事業（仮称）宇出津地区統合保育所建設工事（機械設備）（ゼロ町債）

株式会社 三宅配管

※ゼロ町債・・・事業が複数年にまたぐ場合、入札・契約年度の支払いはゼロ円とし、次年度以降に町が全額を支払うという「ゼロ債務負担行為」を設定することで、早期の工事着手を可能とするもの。

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

3月定例会議の一般質問（13日）



小浦 肇 議員

問 能登町創生総合戦略の評価を問う

答 取組で指標・目標を達成している

問

「第2期能登町創生総合戦略」の取組状況・評価を問う。

答 町長

4つの戦略をたて、町職員と町民・議員・関係人口となる各位の取組で指標・目標を達成しており、大きく評価し各位に感謝している。特に戦略2の取組で、首都圏大手企業と徐々に、関係人口の創出が図れており、当町との繋がりを実感している。

問

戦略2の具体的な遂行状況を示せ。

答 ふるさと振興課担当課長

「中学3年生の町に愛着を感じる割合」では、R6年度目標81・4％に対し、R4年度90・5％で既に目標を達成。「能登高等学校魅力化プロジェクト」では、鳳雛塾の運営・ゼミ開催などから、一般入試出願者数が定員の、R4年0・75倍、R5年1・10倍と前年比1・46倍増加している。また、企業版ふるさと納税で、「能登高等学校魅力化プロジェクト」への寄附があった。「関係人口から定住人口への展開」で、関係団体協力のもと、ノトクロスポートを拠点に活動を行い、ワーケーション・の未来会議・ローカルシフトアカデミーなどを展開し、2192名の利用者と、135組の移住定住相談・8組16名の移住2社のサテライトオフィス登録の実績がある。

問

戦略2の取組成果をさらに継続する主要施策を示せ。

答 町長

成果を継続するR5年度の主要施策は、①移住者・全町民を対象に、新築住宅購入費に最大300万円、中古住宅購入費最大100万円、住宅改修費に最大50万円を補助する。②県外から町に移

問 マイナンバーカード取得率を問う

答 2月末の取得率72・8％県内5位

問

①各期末の取得率と主な取組を問う。

②「オンライン資格確認システム」の導入状況は。

答 住民課長

①R3年度末37・7％県内19位、R4年9月末46・4％県内17位、R5年2月末72・8％県内5位。主な取組として、広報誌・有線放送活用、企業や能登高・公民館など出張申請サポート、役場窓口を4から5カ所とし申請用タブレット端末導入で、待ち時間を短縮。毎月第2土曜日の臨時窓

住する40歳未満の世帯構成員へ、引越費として一律5万円補助する。③奥能登2市2町以外からのUターン者を対象に、家賃の2分の1（上限2万円）を最大3年間継続補助する。

口職員を、2人から5人体制とした。

答 健康福祉課長

②3月1日現在、町内医療機関14機関中8機関、薬局では、9薬局中7局は既に利用可能であり、順調に導入が進んでいる。公立宇出津総合病院と、瑞穂診療所は既に利用可能。利用できる目印として、ステッカーやポスターが掲示されている。



マイナンバーカード（イメージ）



吉田 義法 議員

問 広範囲での事前伐採を求める

答 住宅地に隣接する森林は対象外

問

①昨年12月の雪害で倒木による通行止めや断線が多数、起きた。復旧までに時間を要した事由は。また、3月中に再発防止策として県事業により、金山地区の私有林で事前伐採を行う方針とある。町の関りは。

答 農林水産課長

皆伐ではなく間伐を行い面積に対する経費単価を抑え、広範囲での実施が必要だ。町の見解は。

①電力会社と協力し作業を行ったが、電線に架かる倒木が多数あり復旧に時間を要した。また、被害が多かった金山地区での事業費は170万円。事業面積0・26ヘクタール。9割が国及び県の補助金で1割が町の負担。

②土地所有者が亡くなっている場合は、相続人全員と協定を締結しなければならぬ。所有者が特定できない場合は事業化できない。

③今回の事業では、住宅地に隣接する森林は対象とならない。また、事業面積を広くとるため、間伐での実施を県に確認したが皆伐が条件と回答があった。

問 能登町型森林整備事業を提案

答 制度設計や財源に課題がある

問

①林業就業者を支援し、一次産業の一つである林業を活性化させ、町の代表的な産業へと発展させる価値があるのではないかと。最近、持続的森林経営が可能な自伐型林業が注目されている。費用の支援と技術習得の支援に取組んではどうか。また、能登町には林業専門職員がいらないが必要性はないか。

答 町長

①就業者の意見や取組事例を参考に支援策を協議する。また、専門職員の配置は、県の専門職員と連携しているので考えていない。

②制度設計や財源の問題もあり、難しいので、回答のしようがない。

問 その他質問

森林環境譲与税の按分基準が天然林を含まず、人工林に限られていることについての見解は。また、輪島市との差額が大きい事由は何か。

答 農林水産課長

森林環境譲与税は人工林の荒廃に対して、歯止めをかけるために創設されたものと考えられる。また、基準割合の50パーセントを占める私有林人工林面積が、輪島市は当町の2・46倍であることが主な事由。



きれいに整備され間伐された山林

問 4月からの分別回収、主な変更は

答 布・ひも類をもやせる大型に

問

4月1日より、「家庭

ごみ資源の分け方・出し方」が一部変更になると聞いている。

主な変更内容について、ポイントをわかりやすく説明せよ。

一般廃棄物の処理形態が大きく変わる。

主な変更内容については「布・ひも類」の区分を「もやせる」と「もや

せる大型」に。また、新たな分別区分として「スプレー缶」をつくった。

答 住民課長
奥能登クリーンセンターでは、令和5年4月1日より新焼却施設が本格稼働する。

これは、今までリサイクルできなかったスプレー缶やカセットガズボンベを今後は、鉄資源として利用できるようになったからである。これと同様に、従来埋立て処分していたマットレスやソ



馬場 等 議員

問 ふるさとタクシーを均一料金に

答 今のところ料金改定の予定は無い



ゴミ収集車（イメージ）

ファも、奥能登クリーン組合で受け入れる。大幅に埋立てごみを見直すことにより、埋立てごみのほとんどがガラス類や陶磁器などのみとなる。

問

ふるさとタクシーの利用料金は内浦地区だけが1300円と高く、その他能登町内は900円である。なぜ、予約制乗合タクシーのように一律900円にできないのか。

答 企画財政課長

ふるさとタクシーは、のと里山空港の利用促進を図るため、県内の交通事業者や関係市町などで構成されている能登半島広域観光協会が、事業主体になっている。

協会では、今のところ区域の見直しを含めた料金改定の予定は無いとの回答であった。

問 その他質問

予約制乗合タクシーの利用者に、能登町役場で期日前投票をするように勧めてみればどうか。

答 町長

予約制乗合タクシーの利用については、主に交通空白地帯の住民の足として利用されている。本年度からは料金を一律700円として、広く利用しやすい環境を整えているので、期日前投票にも活用していただければと思っています。

町は自主財源の確保のためにも、今一番人気のあるイカキングをモチーフに商品開発を行い、土産品やふるさと納税の返礼品にすればどうか。

答 町長

現在、つくモールにて4種類のイカキングのステッカーが販売されている。イカキングにかかわらず新商品開発に対する支援として、地域資源活用ビジネス支援事業の利用促進を図り、様々な商品が開発され返礼品となるよう支援していきたい。



人々にぎわうイカキング



南 正晴 議員

問 生活介護、療養介護の利用を問う

答 月平均118件が利用

問

能登町の高齢化率は3月1日の住民基本台帳ベースで49・7%と50%に迫ろうとしている。高齢者人口は7,700人あまり、何らかの介護が必要な高齢者に対して十分に応えられていないのではないかと。町内の短期入所サービスについて、各施設の定員や利用率について問う。

問

業と併せて行っており、定員は決まっていらないので利用率は出せないが、利用実績は月平均118件である。

短期入所サービスの利用者やその家族だけでなく、介護支援専門員からも「短期入所サービスを利用するには、希望する日の1ヶ月以上前から申し込んでおかないと利用が難しい」と聞いたことがある。この状況では、困っている人が利用したい時に利用できないサ-

答 健康福祉課長

短期入所サービスは、特別養護老人ホームを運営する事業所が、入所事

ビスになってしまふ。町として何か対策を講じているのか。

答 健康福祉課長

短期入所サービス利用者の受け入れは、あくまで事業所の判断である。事業所の入所状況によってはスムーズに利用が決まっていることもあるので、ケアマネジャーに早めの相談を願う。

問

各事業所の短期入所サービスの空き状況を、リアルタイムで一元的に管理することは可能か。毎朝各施設からメールやFAXで空き状況を送ってもらい、空き状況が把握できる方策を構築できないか。町の地域包括支援センターやその支所、各居宅介護支援事業所でもリアルタイムに情報を共有できればケアマネジャーは助かると思うし、要介護者やその家族へのサービスの向上につながる。わずかな努力でお金をかけずにできるのでは。

答 町長

短期入所の空き状況の変化のたびにメール、FAXでは事業所の負担も大きい。リアルタイムで確認できるシステムの構築の提案は、短期入所に限ったシステムの導入は、現段階ではメリットが少ないと考える。



介護 (イメージ)

問 学校給食無償化へ交付金活用は

答 4年7月補正で計上

問

2022年度は全国約1600市区町村の3割が、給食費を無償化したことが調査で分かった。子育て家庭の生活支援などが狙いで、うち6割が物価高騰対策にも活用できる政府の臨時交付金を活用。交付金が切れる23年度から自主財源で無償化する自治体もあり、給食費助成の動きが加速している。22年度は交付金活用で無償化することを考えなかったのか。

答 教育長

令和4年7月補正で、地方創生臨時交付金「コロナ過における原油価格・物価高騰対応分」を活用し、学校給食食材費高騰対策事業を実施した。無償化ではないが、子育て世帯への負担軽減策として実施、令和4年9月から補助金271万円を計上した。

問

5年度予算では学校給

答 教育長

5年度の主要事業の1つとして、子ども・子育て支援の充実として学校給食費の助成費を1316万円計上した。完全無償化には、まだしばらく時間がかかる。



学校給食 (イメージ)



田端 雄市 議員

問 寄りそうデジタル委員を配置せよ

答 デジタル推進室で、ニーズに対応

問

いよいよ、※ DXの推進がスタートする。各自自治体、競争しての知恵比べである。大事な視点は、デジタルから疎外された人々や社会的に弱い立場の人々をどう、この事業に参加させるか、である。町民の求めるところを素早くキャッチし、対応する、そんな身近なデジタル推進委員を配置するべきと提案する。

答 町長

町民すべてがデジタルの恩恵を受けられるよう計画を進める。

本年は、26項目のオンライン申請を可能とする手続きを進める。

そのため、まず、ニーズに対応するDX推進室をつくり、取り組む。

国のデジタル推進委員については、必要に応じてアドバイザーを求めたい。

※ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること。

問 带状疱疹ワクチン接種 助成を要望

答 情報を取り入れ、検討する

問

宇津総合病院において、带状疱疹の受診者が急増している。

子どもの頃に水疱瘡にかかった人が、高齢化等で体力と免疫力の低下により、発症するものである。80歳までの高齢者では、3人に1人が発症するといわれる。後遺症はかなりの期間、後神経痛で激しい痛みに耐えなければならぬ。予防には、ワクチンが有効である。

2回の接種が必要で、4万円以上もかかる。収入の限られている高齢者には、厳しい出費となる。町の助成を要望する。

答 町長

現状は、任意の接種であり、国の推奨もまだない。他自治体の現状、情報も取り入れ検討する。



ワクチン接種（イメージ）

問 その他質問

石川県は本年度、奨学金返還助成を拡充し、県内就職の促進を図るようだ。町も県の方針と合わせ、U・イーターンの若者を積極的に受け入れるべきだ。現状では、高等教育の奨学金受給率は、50%を超えており、卒業後の返還に悩む人も多い。この奨学金返還に関する自治体の支援には、特別交付税措置がある。

答 町長

令和4年6月時点で、35%の自治体が導入しており、県内にも実施されている。町内の担い手確保の一助となるため今後、支援の内容を協議していく。



鍛冶谷 眞一 議員

問 防犯カメラの現状とこれから

答 現在 36 基を設置、増設も視野

問

県警の見解では、防犯カメラは基本的には自治体や民間が設置するものと考えている。そこで現在、

①町内の防犯カメラは何基あるのか。
②映像の管理はどのようなにしているのか。
③異常気象、老人の徘徊、児童生徒の保護等に大きな力を発揮すると思うが、増設に対してどのように考えているのかを質す。

答 総務課長

①町では36基を設置。そのほか庁舎、病院、学校施設の内外にモニターによる監視と録画を行っている。



防犯カメラ（イメージ）

②能登町防犯カメラの設置等の要綱に基づいて管理、運用している。

答 町長

③犯罪の抑止効果、子どもへの安全確保等に有効と考えている。増設が必要な場合は協議を重ねて決定する。また令和5年度から町内会、商店街等の各種団体が設置、管理する防犯カメラについて新たな補助制度を実施する。

問 災害時の電気の確保を強化せよ

答 発電発電機の接続で電源を確保

問

今冬は倒木等による断線で停電したため、スマホの充電もできず連絡すら無理であったとの声を聞いた。町では公立病院や庁舎等が停電になっても直ちにバックアップ機能により早期復帰が可能だ。保育所、学校、緊急避難所等の電気の確保を強化してほしい。併せて発電機の装備を提案する。

答 町長

保育所、学校、公民館等の現有施設では自家発電設備や蓄電池の整備をしている施設はないし、設置は考えていない。

対策のひとつとして、外部から機器を用意し、照明とコンセントの利用を可能にする発電発電機の回路設備を、大規模改修や新たな施設整備時に整備している。

また、指定避難所の発電機については、町の防災備蓄計画に基づいて、広域避難所に各1台確保できるように進めている。現在4台を保有しており、目標は13台である。



問 文化継承と町の活性化を聞く

答 実績をふまえ、各種団体と協議

問

①文化の在り方は地域経済活動に大きな影響を及ぼし、新たな需要や高い付加価値を生み出す。地域の神社、祭礼継承など活性化に対し支援することとは可能か。

②いしかわ百万石文化祭では、能登町は「いつた」、「発酵文化」を協賛事業として取り組むと聞けるが、

これを契機に町民の文化に対する関心、活性化を図るべきだ。

③文化活動には、発表する場、表現する大きな会場が必要と考える。二十歳の集いが一堂に会し行われるようなホールが必要だ。

答 教育長

①地域文化の継承、お祭りは重要で、集落への支援は公民館事業の自主性を尊重し、弾力を持たせ支援している。

②発酵文化には「いしり」「いしり」はもとより、酒造り文化もある。長い伝統に裏打ちされた技術に対する評価は絶大なものがあり、経済活性化に大きく寄与すると思う。昨年の文化祭協賛で得た実績をふまえ、各種団体と協議したい。

答 町長

③町内には3か所のホールがあり、新たなホールの建設は考えていない。



市濱 等 議員

問 スクールバスの運行状況は

答 安全運行と安定経営に配慮

問

①円安、燃料高騰、ウクライナ問題で経済が不安定だ。スクールバスの入札制度は3年契約と聞くが万全か。経営の不安定化で危険が及ぶことはないか。

②経営上の問題だが、燃料、車両経費については、現行では事業者負担と聞く。事業者の負担軽減のため、発注者負担とできるか。

③運転手の業態について、現行では2種免許が必要と聞く。年齢制限では70歳までと聞けるが、運転手の条件緩和は可能か。

答 教育委員会事務局長

①地方自治法、長期継続契約事務取扱要綱に基づき契約している。長期継続契約のメリットを活かし、効果的に安心安全なバス運行が計られ、また契約事務の効率化も計られている。

②契約の変更規定があり、発注者と受注者が協議できる契約である。

③石川県、近隣市町の運用を参考に、法令遵守で緩和できる範囲を絞り込み、地元業者が安全を確保し、運行できるように要件緩和の協議を進めている。



スクールバス

問 高齢化社会に対応した窓口設置を

答 「書かない窓口」を導入する



志幸 松栄 議員

問

「書かない窓口」の設置とDX推進計画（マニュアル化からデジタル化へ）についてのこれらの動向は。また、スマホやタブレット等の操作方法の勉強会の開催は考えているのか問う。

答 町長

国が進めているデジタル化の推進に合わせ、町デジタル化を通して地域社会の問題解決、また高齢者にとっても暮らしやすいまちづくり、さらに行政サービスの質の向上を目指し、町のDX推進計画を策定した。その一



能登町役場窓口

部が「書かない窓口」の導入であり、具体的には、各申請書を作成支援するシステム費用を計上した。このことによりスムーズな行政手続きにつながるものである。

デジタル化勉強会の開催については、高齢者層にとっては苦手な分野であり、時代の流れに乗り遅れないよう操作体験、講習会等を定期的に実施する方向である。

問 ロシアとの漁業協定停滞の見解は

答 県漁協等と連携し国に訴える

問

沖合イカ釣り漁業船団の本年度の状況が不安視され、ロシアとの漁業交渉が停滞されている中、当町は今後、どのようにサポートしていくのか町長の考えを聞く。

答 町長

日ロ漁業協定は1998年2月に結ばれ、日本は入漁料を支払ったうえで操業していたがロシアのウクライナ侵攻により、経済制裁の関係でその費用が払えない状況となっている。

一方、大和堆では外国船の違法操業やミサイル発射の影響により、不安を抱えながらの操業となっている。国からは、警備強化の目的で大型無人航空機の整備や取締船「のと」の配備をいただ

いた。

今後も、県漁協や関係機関と連携を取りながら国にも訴えていく。



小木港を出航する沖合イカ釣り船

その他の質問者

酒元 法子議員



議案をチェック

3月定例会議の議案質疑

岡 吉田義法 議員

結婚新生活支援事業を聞く

婚姻届けが受理される期間と補助対象期間が同じである。恩恵を受ける期間に差が生じるのではないのか。また、予算額を超える場合の対応はどうするのか。

岡 住民課長

制度は、交付金事業で、単年度で事業を継続していくものであり、年度末の申請であれば、翌年度に継続して補助を行う。令和5年度の見込みは、8件を予定し、これを超える場合は、補正予算で対応する。

岡 田端雄市 議員

ひまわりカード発行事業を問う

内浦商店連盟で発行

してきた「ひまわりカード」の全町展開となるが、目標はどのように考えているのか。また、端末機器の導入費用の負担はどのようになるのか。

岡 ふるさと振興課長

参加店舗数は、約100店舗、カードの普及は約1万人と考えて、予算措置をした。導入機器類は、消費税を除いて全額補助する。



ひまわりカード

啓発活動として、カードに現金をチャージする場合、10%のプレミアムポイントを付与し、カードの拡充を図りたい。

岡 馬場 等 議員

大屋根広場、統合保育所の財源を問う

財源として、地方債を挙げているが、何をを使うかを聞く。地方債によって、交付税措置が違うが内容を示せ。

岡 企画財政課長

大屋根広場は、過疎債を充て、統合保育所は、過疎債と施設整備事業債を50%ずつ充当する。交付税算入は、いずれも70%を見込んでいます。

岡 向峠茂人 議員

中山間地域直接支払事業、多面的機能支払事業の支払い状況を問う
農業振興費で、他の自治体では、問題が起きている。本町の指導は適切か。

岡 農林水産課長

両事業とも各集落、各協定に基づき運営されており、適切に指導している。

岡 市浜 等 議員

ブルーベリー普及事業の減額の要因を問う

本事業（委託料）が、前年と比べ約409万円減額となっている理由。

岡 農林水産課長

前年度までは指定管理料算定方式として、経費の積み上げで算定し、冬場の除雪費なども含めていたが、本年度は普及事業に特化した形で、原価及び人件費を直接経費として算定したことによる。



ブルーベリー

総務産業 建設委員会

吉田義法（委員長）
小浦 肇（副委員長）
南 正晴 酒元法子
河田信彰 志幸松栄

問

観光施設費、工事請負費の2億4800万円の
中に、役場跡地の大屋根
建設費の計画がある。規
模と完成予定はいつか。

答

大屋根広場の工事費は
約2億3700万円。建
設に係る監理に約900
万円を委託料計上。設計
は完了しており、着工は



現在の役場跡地

あばれ祭り終了後とし、
翌年3月末の完成を見込
んでいる。

問

林道整備事業で3地区
と説明があったが詳しく
説明を。

答

林業専用道樽子山線、
河ヶ谷線の舗装、坪根線
の橋梁補修。



林道整備（イメージ）

問

社会資本整備総合交付
金事業で5路線計画して
いると説明を受けたが何
処の路線か。

答

道路改良で藤波宇出津



能登町消防団（松波分団）

1号線、藤ノ瀬7号線、
中斉神和住1号線、矢波
組倉1号線、小間生1号
線、予算が満額付くかは
来年度の内示があるまで
わからない。

問

松波分団詰所の建築面
積が149㎡、約45坪ほ
どで、なぜ約1億円もか
かるのか。

答

工事費は8294万7
千円、普通の分団詰所
には無い公園に設置する
トイレを併設するので、割
高となっている。

材料費の高騰に加え、
公衆トイレの設置で、多
目的トイレや通常のトイレ
の倍の数を見込んでい
るので金額が大きくなっ
た。

問

キャッシュレス決済推
進協議会では、協議会に
2700万円計上されて
いる。キャッシュレスの
装置とカードでこの金額
と思うが、導入後の10%
ポイント付与は、町から
の助成か。

答

補助については、内浦
商店連盟で運用している
ひまわりカードの拡充に
係るもので、加入する店
舗への端末機器への補助。
希望者にはカードを無料
配布。10%のプレミアム
ポイントは1千円を上限
とした令和5年度限りの
補助である。



キャッシュレス決済

問

定住住宅助成金の対象
となる方の所得制限はあ
るのか、補助を受ける時
に業者の指定はあるのか。

答

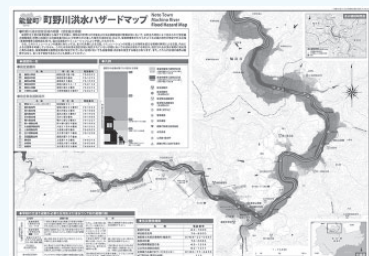
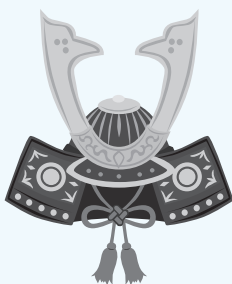
所得制限は無い。業者
指定については新築住宅
を購入する時には町内、
町外業者いずれでも構わ
ないが、町内業者で施工
の場合は補助率の加算が
ある。

問

洪水ハザードマップ作
製費が計上されているが、
いつごろできるのか。

答

県管理の2級河川町野
川については作成されて
いる。それ以外の2級河
川、6水系11河川の水系
ごとに整備されたデータ
を県からもらい、町が見
やすい図郭でマップを作
成する。補助事業である
ので予算が早く執行でき
るようなら、早期着手し、
年内完成を目指したい。



町野川洪水ハザードマップ

教育厚生 委員会

小路政敏（委員長）
馬場 等（副委員長）
田端雄市 金七祐太郎
市濱 等 向峠茂人
鍛冶谷眞一

42%となっている。

問

真協遺跡縄文館の入場者実績は。

答

問

保険給付費の出産育児一時金5人分が上限か。

答

国民健康保険該当世帯が対象で令和4年10月までに2名、令和3年度は11名であったが、近年は5名以内である。

問

保険事業費で特定検診受診率を45%に戻すにあったが。

答

令和元年度は47・2%であったが、コロナの影響で令和3年度は40%だったので、その手前の45%に設定した。参考に県の平均は令和3年度で



真協遺跡縄文館

問

出産・子育て応援事業の内容は。

答

妊娠届出時、妊娠中期

及び出産後に面談とアンケートを実施し、悩みの相談や要望など聞き取るもので、妊娠届出時と出産後の面談後に各5万円を給付する。

問

墓地システムの導入について。

答

町で管理している墓地621区画について、10年ごとの永代使用料等の請求のほか、墓地を5年間建立しなかった場合の返還手続き等の業務に利用する。

問

松波城址整備事業の内容は。

答

指定区域内の枯山水の遺構の修復、礎石建物と門の復元、案内看板、園路の設置などを予定している。



松波城址整備事業（全景）

問

戸籍住民基本台帳費の申請支援システム導入について説明を。

答

住民課の窓口で、お悔やみ等の手続で来庁された場合、各課の担当職員を呼び出しワンストップで対応しているが、マイナンバーカードや免許証書があれば、同じ名前や住所を申請書に何回も書く必要がないシステムで、住民課の他、柳田、内浦の各総合支所にも導入する。

問

老人福祉費の配食サービスは需要と供給のバランスが取れているのか。

答

配食サービス事業者は、現在7業者ある。団塊の世代の方々が75歳になるので、これからも需要は伸びると思う。燃料費の高騰により町と配食サービスを受ける方の自己負担をそれぞれ50円上げてトータルで1100円とする。

問

子育てにやさしい企業協議会の説明にあったプレミアムパスポート事業とは。

答

町が協賛して実施している内容としては、パスポート保有者へ町指定ゴミ袋を年間10袋配布している。

問

衛生費の不動産鑑定、教育財産管理費の実施設の内容は。

答

衛生費の内浦クリーンセンターの用地は、公共施設個別施設計画で一部を民間譲渡する計画となっており、不動産鑑定と用地測量費を計上している。

問

子育てにやさしい企業協議会の説明にあったプレミアムパスポート事業とは。

答

町が協賛して実施している内容としては、パスポート保有者へ町指定ゴミ袋を年間10袋配布している。

問

衛生費の不動産鑑定、教育財産管理費の実施設の内容は。

答

衛生費の内浦クリーンセンターの用地は、公共施設個別施設計画で一部を民間譲渡する計画となっており、不動産鑑定と用地測量費を計上している。

問

教育財産管理費の実施設の内容は。

答

教育財産管理費の実施設について同計画により、令和6年度に旧内浦多目的研修施設の解体を考えている。

問

保健衛生費のスマホによる検診について説明を。

答

このシステムは、これまでコロナワクチン接種にも使用しており、スマートフォンやパソコンでメールアドレスを登録すれば、検診を予約できるシステムとなっている。

少子化対策事業で48人と説明があったが。

この人数は令和5年4月から7月分までの母子手帳発行数10人分の他、8月から翌年3月は今年度の出生見込数38人で積算している。支給額として、第1子は10万円で20人分、第2子は20万円で14人分、第3子以降は30万円で14人分を見込んでいる。

犬登録管理費の内容は。

委託料の定期外予防注射は、毎年4月に町内数か所で行う定期集団予防接種を受けなかった方が、獣医師のところに行って接種するもので、180頭分を計上している。

犬登録管理費の内容は。委託料の定期外予防注射は、毎年4月に町内数か所で行う定期集団予防接種を受けなかった方が、獣医師のところに行って接種するもので、180頭分を計上している。



柳田小学校全景

大規模改造は建築後20年以上が経過した建物に対象になり、工事種別の老朽では外壁や内装が対象になり、質的整備は照明器具のLED化、トイレ改修などが対象となる。

柳田小学校の大規模改造の内容は。



新焼却施設全景

新焼却施設が完成するとゴミの分別も変更になるが、塵芥収集金額は変わらないのか。

年間あたりの収集回数、

過疎債と病院事業債が半分ずつで、充当率は過疎債と病院事業債の充当率は100%。交付税算入率は47・5%還元される。

新規事業として、介護支援専門員及び主任介護支援専門員として従事している方の資格を更新す

か。介護人材の確保として1210万円が計上されているが資格更新の助成

能登町なんでも相談
カナリア
電話相談窓口
(0768) **76-2874**
相談日時 毎週火曜日・木曜日 午前10時～午後2時
※祝日、年末年始、お盆時期はお休みいたします
なんでも相談カナリア (チラシ)

カナリアという名称で、なんでも相談することができます。電話相談員が、週2回午前中、相談を受け付けている。

青少年育成センターの電話相談とは。

収集にあたっての移動距離等を積算根拠としており、新焼却炉が稼働しても変わるものではない。



公立宇出津総合病院

コロナの影響ではないと思われる。今後、人口減少により、年々減少する見込みである。

病院事業の3月補正で入院患者が10%、外来患者が5%減少しているが、今後の見通しは。

る際の、経済的負担軽減として20万円を支給するほか、居宅の介護支援専門員等にも一定数以上を担当することで、同額を支給する。

令和4年度全国町村議会議長会『特別表彰』を受賞！

令和5年2月8日に、全国町村議会議長会『第74回定期総会』が開催され、能登町議会が取り組んでいる、タブレットを用いた議会運営や、通年会期制の導入による開かれた議会活動などが特に評価され、全国町村議会議長会で特別表彰を受賞しました。



表彰を受ける金七議長（ホテル ルポール翅町）

1月から3月の主な議会活動

1月8日 二十歳のつどい（町成人式）

1月11日 交通安全祈願祭

1月18日 広報編集特別委員会

1月23日 議会運営委員会・議員全員協議会・広報編集特別委員会オンライン研修

1月27日 石川県町村議会議長会臨時総会（KKRホテル金沢）

2月3日 能登地区町議会連絡会総会・意見交換会（宝達志水町）

2月6日 全国豪雪議長会理事会・総会、全国町村議会議長会定期総会、都道府県会長会（～9日）（東京都）

2月15日 長野県信濃町表敬訪問（～16日）

2月17日 議会運営委員会・議員全員協議会・第1回能登町議会2月会議

2月28日 議会運営委員会

3月1日 議員全員協議会（～2日）

3月2日 議会運営委員会

3月6日 第2回能登町議会3月定例会議（議案上程）

3月7日 各常任委員会

3月13日 第2回能登町議会3月定例会議（一般質問）

3月15日 第2回能登町議会3月定例会議（採決）

石川県町村議会議長会議長協議会・石川県市町議会議員公務災害補償等組合議会定例会（KKRホテル金沢）



全国町村議会議長会定例総会

令和5年出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 公…他の公務あり —…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名	小 浦 肇	吉 田 義 法	堂 前 利 昭	馬 場 等	田 端 雄 市	金 七 祐 太 郎	南 正 晴	市 濱 等	小 路 政 敏	酒 元 法 子	河 田 信 彰	向 峠 茂 人	志 幸 松 栄	鍛 冶 谷 眞 一
1月18日	広報編集特別委員会		○	○	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—
1月23日	議会運営委員会		—	—	○	○	—	才	—	—	○	○	○	○	—	—
1月23日	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月17日	議会運営委員会		—	—	○	○	—	才	—	—	○	○	○	○	—	—
2月17日	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月17日	2月会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月28日	議会運営委員会		—	—	○	○	—	才	—	—	○	○	○	○	—	—
3月 1日	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月 2日	議会運営委員会		—	—	欠	○	—	才	—	—	公	○	○	○	—	—
3月 2日	全員協議会		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月 6日	3月定例会議		○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月 7日	常任委員会		○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月13日	3月定例会議		○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月15日	3月定例会議		○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※堂前利昭議員は令和5年3月6日議員辞職

まちかど

インタビュー



船長 水元真吾さん

今回は、宇出津で数少ないイカ釣り漁を営む「第三十八海真丸」船長の水元真吾さんを訪ねました。

インタビュー
小浦 肇

◆漁業に従事されたきっかけと経歴は？

漁業を営む家に長男として生まれ、親の手伝いをしながら徐々に漁師魂を養い、家業を継ぐ決心をしました。当時は、日本海流し網漁(サケマス)

「同級生船」で

イカ釣漁継続!!

とイカ釣り漁が盛んで、親しい同級生達8名も、漁業に従事しました。

4年間は、日本海流し網漁・中部流し網漁を経験し、3年間木造18t船の親子船でイカ釣り漁、その後現在のFRP17t船で独立しました。現在は、同級生の諸角和紀さんとコンビを組んで操業しています。

◆漁場はどの辺りですか？

一昨年までは、4月解禁日から5月頃は西海・蛸島港をベースに、金沢沖・西海沖、そして6月末までは、舢倉島近海・西海沖の日本海です。



甲板長 同級生の諸角和紀さん

◆嬉しかったこと及び苦労したことは？

過去、仲間と船団を組んで操業していた頃、定期報告会で漁獲量が上位だった際は、非常に嬉しかった。また、若い頃「あばれ神興」奉仕で、初めて神と交わったことです(現在酒垂神社あばれ神興保存会会長)。

昔も今も、何よりも沖から家族のもとへ、無事に帰港することが嬉しい

です。

苦労と言えば、昔は「Aロラン」と「海図」、「デッカー」(ロシアからの電波)で、船の位置を確認していたことです。今では、プロッターで正確に船の位置や漁場を確認でき、安全に走行・操業ができます。

◆イカ漁の休漁期間は？

12月から3月の間は、4トン船で、アンコウ・タラ・カレイなどを獲る「刺し網漁」をやっています。数か所に網を仕掛け、翌日順番に上げていきます。

◆昔の海と今の海の違いは？

刺し網漁では、メダイ・サクラマスが獲れなくなり、アワテガレイが多く獲れるようになりました。また、ゴミも増えていきます。海の中は変わってきていますね。

◆結びのひとこと

7年前にエンジンを載せ替えており、身体が動く限り漁師を続けたい気持ちです。

◆乗組員からひとこと

口数少ない男気のある船長です。「同級生船」で、もうひと頑張り!!

次の定例会議は6月6日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。傍聴にお越しの際は、引き続き基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

編集後記

真吾船長、有難うございました。「生粋のイカ釣り漁師」を諸角さんと貫いて下さい。

今回で2回目の編集に携わり、簡潔に内容を伝えること、そしてインタビューの質問で、「人となり」や「課題」などを引き出すテクニックを身につける必要性を痛感しました。

(委員 小浦 肇)



広報編集
特別委員会

委員長 馬場 等
副委員長 小浦 肇
委員 吉田 義法
田端 雄市
南 正晴
小路 政敏